

# 滋賀県における「学ぶ力」と「読み解く力」の育成について

教育大綱および新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、滋賀の子ども一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、社会で生きていくために必要な「読み解く力」を高め、「学ぶ力」の向上を図ることで確かな学力を育成する。

- 平成31年度全国学力学習状況調査から
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得が不十分である子どもや、文章の趣旨を把握したり自分の考えを説明したりする力が十分身に付いていない。
  - 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答している子どもが、全国と比べて少ない。
  - 家庭で主体的に学習する習慣が身に付いていない。

- ・「学ぶ力向上滋賀プラン」(H27～)
  - ・「第Ⅱ期学ぶ力向上滋賀プラン」(H31～R5)
- 読み解く力の育成**

1人1台端末の活用(R3～)

## 「取組の重点」視点1～視点3

### 視点1 学びを実感できる 授業づくり

- 子ども一人ひとりの学びの状況に応じた基礎的・基本的な知識・技能の指導の充実
- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実

★ICTの効果的な活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実

- POINT**
- 資質・能力の育成に向けた「教科等の指導力点」を意識する。
  - 校内研究(主題、内容等)に「読み解く力」を関連付けて授業改善を進める。
  - 学習評価の充実を図り、子ども一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、「わかった」「できた」につながる「個別最適な学び」を進める。

学び意欲を引き出す

### 視点2 学習集団づくり

生徒指導の3機能を生かした学習集団の基盤づくりと授業づくりの充実

**POINT**

- 自己存在感を高める。
- 自己決定の場をつくる。
- 共感的人間関係を育成する。
- 学習集団づくりと「協働的な学び」の関連を図る。

生徒指導の3機能

### 視点3 子どものために一丸となって取り組む 学校づくり

学校全体で組織的・継続的に実践する「学ぶ力」向上の取組の充実

**POINT**

- 管理職のリーダーシップのもと、学ぶ力向上推進リーダー等を中心に取組の重点を焦点化し、全ての教職員による「共通理解・共通実践」を図る。
- 取組について、推進する組織を確立し、検証・改善する手立てを具体化し、実践について定期的に確認する。
- 計画的・継続的にOJT研修等を実施し、実務を振り返りながら教職員一人ひとりの自発的な成長を支援する。

## 県教育委員会の取組

- 学ぶ力向上学校訪問(R1～)
- 市町教育委員会担当者連携会議(R1～)
- 「読み解く力」指導力向上研修(R1～3)
- 個に応じた少人数指導推進事業(R1～)
- 「学ぶ力」検証モデル事業(R3～)
- 学びのステップアップ調査CBT化事業(R4～)

- 「ガッテンプリント」(補充教材)(H28～)
- 「学びの基礎チャレンジ」(H30～)
- 「学ぶ力」の向上につながる学校や市町の実践事例集(R1～)
- 「読み解く力」リーフレット、実践事例DVD(R2)
- 「読み解く力」校内研修パッケージ(R3)

## 取組を通じた成果と課題

令和4年度全国学力・学習状況調査や取組の報告より

### 成果

#### 子どもの学びについて

- 資料の一部から必要な情報を引用したり、根拠を明確にして書くなど、「読み解く力」関連の設問において、改善の傾向がみられた。
- 他の子どもと積極的に意見を交流する場面がみられるようになり、他者との関わりの中で情報を引き出す力が培われてきた。
- 自分で調べ→友達の見解を取り入れ→もう一度自分の考えたことをまとめるといった一連の流れの中で、探究的な学びが進められている。
- 「自分にはよいところがある」と感じたり、「難しいことでも失敗を恐れず挑戦する」と感じたりできる子どもが増えつつある。また「友達と協力すること」は小中ともに94%近くの子どもの肯定的回答であり、「自分と違う意見」を楽しんでいる子どもは小中学校とも肯定的回答が72%以上を占め、改善傾向にある。
- 小学校国語・算数で、その教科が「大切だと思うか」「将来役に立つと思うか」といった肯定的回答が90%以上である。

#### 教員の指導力について

- 主体的・対話的で深い学びにつながる授業構成から、子どもの力を引き出す授業改善に取り組んでいる。
- 子どもが目的意識をもち、発見や蓄積、分析や整理をし、自分の考えを再構築するといった、自分で主体的に答えを見つける取組につながっている。
- 読み解く力の育成に加え、効果的にICTを活用することで、「個別最適な学び」の充実につながる流れがつけられている。
- 「読み解く力」の育成と校内研究を関連付けている学校：小学校196校[89%]、中学校80校[84%]となっており、多くの学校で授業改善に向けた取組が行われている。
- 学校質問紙では、「授業において、子どもが、課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組むことができているか」の肯定的な回答が小学校で88%、中学校で83%となっている。



### 課題

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得が不十分である子どもに対して、詳細にわたり分析を行い、学校や地域の実情に合った取組を全校体制で進める必要がある。
- 小学校において記述式の問題に課題がみられたため、自分の考えをしっかりとまとめ、筋道を立て正しく書く取組を進める必要がある。
- 「読み解く力」視点の授業づくりのモデルプランの周知が進み、主体的・対話的で深い学びを意識した授業が増えたが、さらに実践と研究を積み、日常の授業において、しっかり取り組まれる必要がある。
- 子どもがしっかりと学びに向かえるよう、学校や家庭等の子どもを取り巻く環境をより良いものにするために、引き続き課題の整理と関係機関との連携が必要がある。
- 学びに向かうための支援がしっかりといきわたるよう、個々の子どものしっかりと見取りを行う必要がある。(個別の指導計画・個別の支援計画の活用)

# 「読み解く力」を発揮する児童生徒の姿

## 再構築



小学校第3学年 特別活動  
28人なかよし  
サニーパーティーをしよう  
守山市立物部小学校  
秋口 裕貴 教諭

転入してきた友だちと仲よくなるためのお楽しみ会を開くことに向けて話し合い、相手の思いや意図を踏まえながら、納得解を創り上げる姿

小学校第2学年 国語科  
動くおもちゃのハンドブックを  
プレゼントしよう  
愛荘町立秦荘東小学校  
中村 千晶 教諭

教材文から読み取ったことや、友だちとのやりとりから得たことを生かして、より分かりやすい説明書になるように自分の考えを見直している姿

中学校第3学年 外国語科  
Living with Robots  
-For or Against  
米原市立伊吹山中学校  
藤川 直子 教諭

ディベートで相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝えたり、意見を書いたりすることを通して、自分の考えをより確かなものにする姿



## 分析・整理



小学校第5学年 算数科  
平均（ならした大きさの  
求め方を考えよう）  
野洲市立野洲小学校  
角 憲幸 教諭

資料の中に0がある場合の平均の求め方について、考えを図や言葉、式、表、グラフ等を用いて説明し合いながら比較・検討する姿

小学校第3学年 社会科  
安全な暮らしを守る  
長浜市立神照小学校  
太田 美紀子 教諭

警察署や関係機関の相互の関連や、従事する人の願いなどを考えるために、聞き取り調査で分かったことを出し合い、共通点等について話し合う姿

中学校第1学年 国語科  
解釈したことをアナザー  
ストーリーで伝えよう  
高島市立安曇川中学校  
海東 真紀子 教諭

文章の内容を解釈するために、他者とのやりとりを通して、小説のどの場面や描写を結び付けるとよいのかを話し合う姿

中学校第3学年 理科  
仕事とエネルギー  
彦根市立南中学校  
三宅 草 主幹教諭

運動する物体のもつエネルギーの大きさと速さはどのような関係があるか、複数の実験データを整理して分析する姿

## 発見・蓄積



小学校第1学年 国語科  
「びっくり！生き物のひみつ」  
を友だちに説明しよう  
大津市立長等小学校  
左寄 綾子 教諭

自分が見つけた生き物のひみつを説明するために、教科書教材で学んだ視点を基に、自分が選んだ図書資料から重要な語や文を取り出す姿

中学校第2学年 数学科  
平行と合同  
近江八幡市立八幡中学校  
柳内 祐樹 教諭

根拠を基にした予想を立て、証明する論理的思考力を身に付けるために、習得した三角形の合同条件等から必要な情報を取り出す姿

中学校第3学年 社会科  
個人の尊重と日本国憲法  
湖南省立甲西中学校  
藤井 雄基 教諭

よりよい社会の在り方について追究し、基本的人権の尊重に対して自分なりの考えを表現するために、資料から必要な情報を取り出す姿

